

◆日時:令和5年3月14日(火) 10:00~10:55

◆場所:中井町保健福祉センター 3階 研修室

◆出席:<委員>坂本通泰、早野茂、石渡正次、深見理恵、小澤勲、岩本愛子、加藤彰吾、岩本正、西田統、
鶴井淳(敬称略)
<事務局>天野泰、加藤裕美、山口早苗
<業務受託者>黒崎晋司

◆議題:(1)健康増進計画・食育推進計画(第2期)について

(2)その他

【配布資料】

次第/中井町健康増進計画推進委員会名簿 中井町健康増進計画推進委員会設置要綱
推進委員からの案に対する意見とその対応について
中井町健康増進・食育推進計画(第2期)

議題(1)健康増進計画・食育推進計画(第2期)について

資料にもとづき、推進委員からの案に対する意見とその対応について事務局から説明したうえで、中井町健康増進・食育推進計画(第2期)を検討した結果、全員一致で計画が確認された。

議題(2)その他

本年度最終回の委員会であることから、各委員から本年度の感想等を述べてもらった。各委員からの発言の概要は以下のとおりである。

委員:小中学校では、運動と食事を大切にしており、特に朝食を食べることを重視している。健康で体力のある子どもたちに育ってほしいので、昼休みなどの運動や遊びも大切にしている。今回の計画にもとづき、学校と家庭が連携して取り組んでいきたいと思う。

委員:農協では健診率の向上や学校と連携して食育に取り組んでいる。今後とも連携しながら進めていきたい。

委員:前回の計画から大きく変更して、計画の構造が明確になり、エッセンスをしっかり押さえた素晴らしい計画ができたと思う。本質的なことが分かりやすくコンパクトにまとめられたとても良い計画だと思う。ご苦労された事務局のみなさんに感謝している。

委員:計画は、つくるだけでなく、実現させていくことが大切だと思う。今後は、計画の進捗状況などの報告を受けながら、引き続き委員のみなさんにはご協力をお願いしたい。

委員:委員会での様々な意見に対して、事務局は丁寧に対応していただいた。健康なまちづくりに向けて、地域とのつながりや本人の気づきのきっかけづくりが大切だと思う。多くの人にこの計画を知ってもらい、工夫しながら情報提供していくことが肝心だと思う。

委員：食べることは生きていくうえでとても大切なことであるにもかかわらず、大人になって食べることに関して学ぶ機会が少ない。この計画が、普段の食生活や健康を見直すきっかけになることを願っている。このような素晴らしい計画ができたことで、中井町の町民の方々を羨ましく感じる。

委員：コロナ以降、食事をつくること、食生活を豊かにしていくことが見直されてきている。子どもの頃からの習慣づけとともに、親の意識の変革、学校や職場との連携が大切だと思う。特に朝食をしっかり食べることを進めていきたい。

委員：とても緻密で分かりやすい計画ができた。今後の実践に期待している。未病の改善に向けて、健康づくりステーションでは中井町の風景をヴァーチャル映像で見ながら自転車を漕ぐトレーニングマシンも導入された。こうした取組が広がり、幅広い年代の人に利用してもらいたい。計画が実現され、中井町が健康なまちとして、健康寿命が延びることを期待したい。

委員：いろいろな委員会に参加しているなかで感じることは、働き方改革・定年延長などにより社会が大きく変わるなかで社会活動に参加できる期間や参加のしかたも変化してきているということである。ボランティア団体においても担い手の高齢化の問題などを抱えており、社会の変化に対応しながら、町民が地域で健康に豊かに暮らしていけるまちづくりに向けて、この計画の実現が進むよう、今後ともよろしく。

委員：委員のみなさんでの議論の成果として、このような立派な計画が出来上がった。食の問題、健康寿命、社会の変化、計画の実現性、連携した取組など、みなさんが言われたポイントが分かりやすく整理され盛り込まれた、素晴らしい計画だと思う。今後も、推進委員会として、この計画の進捗を見守っていきたい。

事務局：一年間の議論のなかでは、町民の健康寿命の延伸という大きな目標とともに、職員の負担軽減というご意見もいただいた。

委員の任期はもう一年あり、令和5年4月以降、この計画の進行管理をお願いしたい。